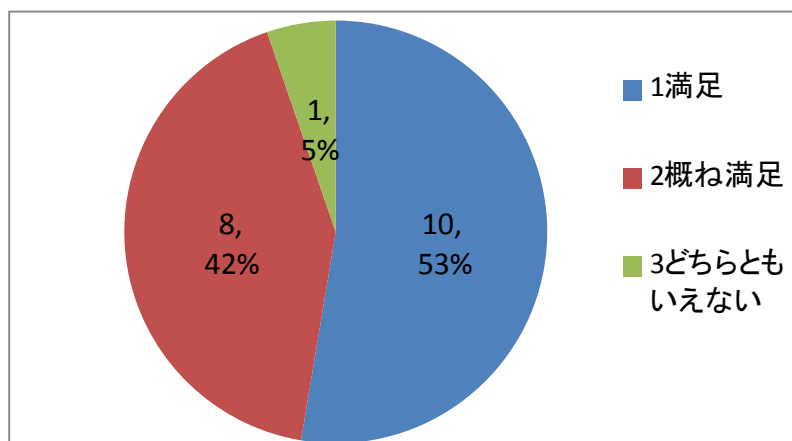


科研費勉強会アンケート結果分析

1. 満足度の結果



回答 19 名 (回収率 90.4%)

回答者の多くが肯定的な回答（満足、概ね満足）であった。今回は実習パートで実際にデータに触れてグラフを作成するという作業を行ったことと、参加者の自大学のデータを操作できたこと等、具体的な材料を扱ったことが参加者の満足を得られたようである。自大学について新しい発見があったという声もあった。一方で、理解のための時間が少なかったという意見もあり、実習時間の配分は今後検討の余地があると言える。

2. 得たもの

レーダーチャートを用いた比較や順位パーセントといった、これまでに参加者が使ってこなかった手法が使えることが分かったという意見が複数あった。また、科研費データから意外に多くのことが分かったという驚きもあったようである。今回はテーマと材料が具体的なものであったためか、参加者は得たいものをあらかじめ明確にして臨んだように思われるが、当初の期待を上回って得たものがあったとすれば、運営スタッフとして光栄である。

3. 今後のテーマ

今後取り扱って欲しいテーマについては、実践的な IR 事例が挙げられている。また、評価との関係で、内部質保証や計画策定といったテーマもあった。その他、個別具体的テーマとして、大学ポートレートの活用、財務や研究分野での IR、学修行動調査、教員評価等があった。

(藤井 [名古屋大])

*アンケート結果

得たもの	満足度点数とその理由 ①満足、②概ね満足、③どちらともいえない、④やや不満足、⑤不満足	今後取り扱って欲しいテーマ・内容等	その他ご意見・ご要望等	ご所属・お名前等
	3 きちんと理解できれば大変有益だと感じました。 理解するには自分には時間が足りませんでした。		企画頂きありがとうございました。	国立事務
他大学と比較データを入手できた。	2 時間が短く理解が難しかった。	勉強になりました。	ありがとうございました。	国立研協系
分野・分科ごとの分析について今後、本学で参考にしたいと思います。	2 科研費を担当しているの、データの分析やグラフを使用した表記について大変、参考になりました。			国立研協系
データ利用の仕方。意思決定支援ができるようなデータ提供。	2 実習が多かったのは良いと思いました。 講義についても、データの取扱方法を学ぶことができましたので②と致しました。	教職協働について（IR、評価業務等に関して）		国立
IRにおいて、エビデンスとなり得る定量データの扱いが始まったばかりらしい…というのが分かりました。 (元々、大学評価には詳しくなかったので、このようなお話は意外に感じました。)	2 Excelの作業シートが労作だと思いました。	各大学のIR取組み状況 ・学内の元データの連携 ・ポジティブに「定量化できない活動」を評価する取組みなどがわかるとうれしい。		国立IR系
科研費データのとりあつかい方について、またIRの役割に付いて勉強になりました。ありがとうございました。	2 科研費データから得られる情報が図に見える形で解析でき、ScivalやInciteのような研究マネジメントツールと組み合わせることで、より、自学の研究力について分析できるのではないかと感じました。	科研費関連のテーマを引き続き、お願い致します(データ解析、他大学の事例を紹介したりなど)。	今日は、お手数おかけしまして申し訳ございませんでした。	国立URA

まず、データをいただけたこと！ 分析だけでなく、通常業務へも利用させていただきます。	2				国立 研協系
提供していただいたデータの活用方法。	2	科研費のデータ分析手法を学ぶことができた。			国立 研協系
実際のデータを使用した分析の中でイメージが深まりました。	2	自大学分析、他大学比較の中で、きっかけのようなものに触れられた気がしたため。	教学分野のデータ分析(エンロールメント・マネジメント分野) 経営分野でのデータ分析(典型例があれば)	有益な機会の設定、ありがとうございました。	私立 計画・評価系
今後の URA 活動への1つの指針が得られた気が致します。	1	皆様、準備等検討されておられ感謝しております。			公立 URA
客観的に自分の大学のデータを見ることができてよかった。	1	評価の仕方について、科研費のデータを使ってここまで、自分の大学の特徴を見ることができるとは思っていなかった。たいへん参考になった。			国立 研協系
レーダーチャートを利用した分析は、あまり行ったことがなかったので勉強になりました。	1	基礎データを整理していただいたので、分析がやりやすかったです。 分野別順位%等、新しい見方ができました。			国立 研協系
各種分析方法	1	研究力の把握についての知見がなかったため大変に勉強になりました。			私立 事務系
レーダーチャート等による自大学の強み、弱みの把握の手法	1	自分だけで考えて煮詰まっておりましたので、いろいろな手法やデータクレンジングの知見が得られたことが大きいです。		今後とも参加させて頂ければ、と思います。	国立 IR系

科研費データから得られる情報が多くあることがわかった。	1	日常の業務で得られない見方があることがわかったから。	今回のテーマについて、次のステップを引き続き実施してほしい。	科研のエクセルデータの他大学への共有化をしてほしい。	国立 事務系
研究力の把握法やIRのメリット役割	1	自大学の特徴を分かりやすく見ることができ、これまでのイメージとは違う点を発見できた。普段は科研費の受入等、研究支援のため、このようなデータ分析をするのも初めてでしたが、すごく入りやすい内容だったと思います。			
科研費データが客観的データとして大学の意思決定に果たしうる役割について具体的なイメージが沸きました。	1	とても丁寧に教えて頂きありがとうございました。自機関のデータの操作ができたことがとても有意義だった。	データからどのように考えていくか、一般的なヒントのようなもの。	各質問に丁寧にご対応下さりありがとうございました。	
レーダーチャートがすばらしい。データベースの整理には頭が上がりません。	1		今年度のデータがほしい。		
研究活動データの取扱いについて学ぶことができたこと。	1	データを駆使して思考を明確にすることができた。			私立 研協系